

2023年5月 (No.407)

主な内容とページ

低迷の半導体市況 自動車向けが下支え	1
日本、車は大增産	3
第1四半期の焦点	4
ドルベース主導になった日本半導体市場	5
世界半導体企業 40社、第1四半期、13社が前年比増収	6
米国半導体大手、回復に長い道のり	11
世界はどちらに一下降	11
昔のオーディオを見直し(SRL だより)	14

低迷の半導体市況 自動車向けが下支え

半導体市場はコロナ特需後の反動から需要は冷え込んでいる。

1. 世界全体では第1四半期に続き足元の第2四半期も低調に推移。パソコンやスマートフォンの在庫増大、関連半導体も在庫削減に手間取っており、回復の見通しは立たない。
2. 自動車用は、昨年の品不足から解消がみられ、EV(電気自動車)用の市場拡大から半導体市場の落ち込みを補い下支えしている。
3. パソコン、スマホ等の最終商品を含め在庫整理、解消の時期が年後半あるいは年末など見方は分かれ、方向が出るのはもう少し時間がかかりそうだ。

昔のオーディオを見直し

コロナ禍で個人的に生活習慣が変わったが、その一つが昔のオーディオの復活。いつも音楽や音を楽しんでいるが、デジタル、ポータブル、ワイヤレス全盛時代で、使う道具は変わり、かつての機器はお蔵入りだった。巢ごもり中に引っ張り出し、再び使い始めたところ、なつかしさとともに昔の方が良かったと感じることが増えた。

一番大きな違いは、音源との距離。今の方は体と一体あるいはすぐ近くで利用することが多いが、昔は、部屋全体、空間を意識し、音自体も自然の中に共存するような親しみを感じた。半世紀も前のアンプ、チューナーも使うほど、元気を回復するような感じを受ける。これがアナログの持つ業なのではと思う。

良い音を得るには、部屋中に配線が必要で、大きなスピーカーは場所を取り、家族から支持を得られない。ワイヤレスで、薄型コンパクトのスピーカーが時代の流れというのはわかっているつもりだが、何かひっかかるものがある。デジタルの限界といったら言い過ぎ、あるいはまだ開発途上、音も音楽も実に多様、奥深い。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2023 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2023 年 5 月 (毎月 1 回発行) 第 34 巻 5 号 (通巻 407 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2023

SRL Monthly Report

May 2023, No.407

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

購読料金 1 年分 (12 号) 98,000 円 (税別) 107,800 円 (税込み)